

平成30年度実施施策に係る政策評価書

別紙 2

(環境省30-26)

施策名	5-5.自然とのふれあいの推進					
施策の概要	豊かな自然とのふれあいや休養などの国民のニーズに答えるため、持続可能な自然資源の保全を図りつつ、安全で快適な自然とのふれあいの場の提供やふれあい活動をサポートする人材の育成を行う。					
達成すべき目標	安全で快適な自然とのふれあいの場を提供しつつ、ふれあい活動をサポートする人材を育成することで、エコツーリズムを推進し、自然とのふれあいの質の向上を図る。また、貴重な自然資源である温泉の保護と適正な利用を図る					
施策の予算額・執行額等	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	8,203	7,559	7,505	10,709
		補正予算(b)	10,489	2,000	9,014	
		繰越し等(c)	10,566	(※記入は任意)		
		合計(a+b+c)	8,126	(※記入は任意)		
執行額(百万円)	7,662	(※記入は任意)				
施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	生物多様性国家戦略2012-2020、未来投資戦略2017、観光ビジョン実現プログラム2017					

測定指標	自然公園の年間利用者数の推移(暦年 千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		-	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	-	-
		-	872,336	899,144	895,010	集計中		-	
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/
	エコツーリズム推進法に基づく全体構想認定数(括弧内は累計)	基準値	実績値					目標値	達成
		20年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	10年度	-
		0	2(6)	1(7)	5(12)	0(12)	3(15)	(47)	
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/
	国立公園・国民公園年間利用者数の推移(千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		-	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	-	-
		-	366,335	376,652	374,579	集計中		前年度比1%増	
		年度ごとの目標値	/	349,325	369,978	380,419	378,325		/
	温泉の自噴湧出量(L/分)	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		昭和45年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	-	-
		651,265	733,740	686,427	684,096	679,732		前年度の水準を維持	
		年度ごとの目標	/	726,000	733,000	686,000	684,000	679,000	/
	国立公園における自然再生事業推進のための実施計画数	基準値	実績値					目標値	達成
		-	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2年度	-
-		11	11	11	11		16		
年度ごとの目標値		/	-	-	-	-	-	/	
国指定鳥獣保護区における保全事業実施計画数	基準値	実績値					目標値	達成	
	-	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2年度	-	
	-	11	11	11	11	12	12		
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/	
国立公園訪日外国人利用者数	基準値	実績値					目標値	達成	
	27年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	2年度	-	
	490万人	-	490万人	564万人	600万人	694万人	1000万人		
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/	

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) 測定指標のうち、国立公園・国民公園の利用者数については、平成29年度は集計中であるが、平成28年度はおおむね前年度の水準を維持している。エコツーリズム推進法に基づく全体構想については、平成30年度は新たに3件の認定を行った。また、訪日外国人国立公園利用者数については、平成30年度は前年比15.7%と国立公園満喫プロジェクト開始以来最大の伸びとなった。なお、満喫プロジェクトの目標達成に向けては、今後多言語解説の整備、ツアーコンテンツの拡充、JNTOと連携したプロモーション強化等により、一層取り組みを推進していくこととしている。 測定指標のうち、温泉の自噴湧出量については、平成30年度は集計中だが、平成29年度はおおむね前年度の水準を維持している。
	施策の分析	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は全国で148件の自然ふれあい行事が実施され、23,000人以上が参加した。これにより、国民の自然とのふれあいの機会の創出等が進められた。 エコツーリズム推進全体構想の認定は、着実に認定数を積み上げるとともに、新たな認定に向けた調整も進んでおり、施策の効果がみられる。 国立公園の訪日外国人利用者数については、平成30年は集計中であるが、これまで着実に増加してきており、各公園におけるツアーコンテンツの造成や人材育成を通して、国立公園における自然体験を行う環境整備・機会の提供が進んでいる。
	次期目標等への反映の方向性	<p>【測定指標】</p> <p><自然公園の年間利用者数の推移></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然とふれあいの場を推進する施策の成果を把握するため、関係するデータとして自然公園利用者数を設定したもの。 <p><エコツーリズム推進法の規定に基づく全体構想の認定数></p> <ul style="list-style-type: none"> エコツーリズム推進全体構想について、平成40年度に全体構想認定数が1以上ある都道府県数が47になることを目標として、毎年3件認定することを次年度以降の目標とした。

学識経験を有する者の知見の活用	国立公園満喫プロジェクト有識者会議において、国立公園の利用者数や取組内容について報告するとともに、出された意見を施策に反映している。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	自然公園等利用者数調
---------------------------	------------

担当部局名	国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課	作成責任者名 (※記入は任意)	熊倉 基之 中島 尚子 山口 富夫	政策評価実施時期	令和元年8月
-------	-------------------------------	--------------------	-------------------------	----------	--------